

優秀賞 「白いごはん」

大淀町立大淀緑ヶ丘小学校 3年 下西 彩矢

わたしの一番好きな食べ物は、白いごはんです。朝おきた時に、たきたてのごはんのにおいがすると、とてもしあわせな気分になります。

一年くらい前までは、朝ごはんにはパンを食べることが多かったけれど、去年、自分でお米を育ててからは、ますますごはんが好きになって、朝ごはんにも白いごはんやおにぎりを食べるが多くなりました。

去年の六月に、近くの田んぼで田うえをしている様子を見学していたら田んぼのおじさんが、米づくりの大へんさを教えてくれました。そしてのこったなえを少し分けてくれました。自分で育てられるか、自しんがなかったけれど、お母さんが、「家の庭でも育てられるから、いっしょに育ててみよう」と言ってくれたので、米づくりにちょうせんすることにしました。

まずは、大きなタライに土と水を入れて、しろかきをしました。どろんこあそびみたいで、とても楽しかったです。そのタライに、もらってきたお米のなえをうえました。田うえははじめてだったけど、意外とうまくなえをさすことができました。次の日から、毎日タライの水がなくなっていないかかくにんするのが、わたしのし事になりました。あつい日は、すぐに水がなくなるので、毎日バケツで水を入れるのが大へんでした。

十月のおわりになって、やっといねかりができました。はじめて本物のカマを持ったのでドキドキしたけれど、いっしょうけんめいせわをしてきたお米をしゅうかくすることができて、とてもうれいでした。いねかりをしたお米は二週間ほどほしてからだっこくをしました。一つぶずつ手でとるのは、とても大へんな作ぎょうでした。だっこくしたら今どはもみすりをしました。すりばちにだっこくしたお米を入れて、野球のボールでこすると、きれいにみがとれました。せい米は、さいしよはお米をビンに入れてぼうでついてやってみたけれど、いくらついていても食べているような白いお米にはならなかったので、さい後にはきかいでももらいました。たくさんのお米を育てたつもりだったけど、せい米がおわると、わたしの両手ですくえるくらいしかありませんでした。

この時のお米は、おにぎりにして食べました。お父さん、お母さん、お兄ちゃん、わたしの四人で分けると、小さなおにぎりが一つずつしかありませんでしたが、今まで食べた中で一番おいしいおにぎりでした。これからもお米づくりの大へんさををわすれずに、作ってくれた人にかんしゃしながら、のこさずに食べたいと思います。